

- (15)外国人 Research Assistant の採用。
 (16)大学院修了者の優遇を計り、博士課程進学率を高める。
 (17)博士課程の設置。
 (18)駐車場不足。
 (19)その他

上述の問題点の一部はその大学の特殊事情に依存するものもあるが、大半は大学における教育・研究環境の不十分さを浮彫りにしており、いずれも欧米の大学における環境整備を見た者にとっては隔世の感がある。古くは、我が国の大学においても、人々は創造の府であることに

純粋なあこがれを持ち、学問にロマンを感じしめる雰囲気をもっており、そのような環境が優秀な人材を育成したことを思う時、次世代の発展のために1日も早く欧米並の環境の実現が必要である。

以上の諸項目の他に、外国人留学生、金属工学または金属材料工学の呼称より材料工学へ移行した場合の問題点など、多くの項目についても意見が寄せられている。それらについては、近くの全国大学材料関係教室協議会のメンバーの方々にお尋ね賜ると幸甚である。

(文責、藤田広志)

新刊案内

『電磁気冶金の基礎研究部会報告書 第一分冊』

日本鉄鋼協会電磁気冶金の基礎研究部会編

定価 3,605 円 (消費税込, 送料別) 会員割引価格 2,575 円 (消費税込, 送料別)

本書は、電気および磁気のエネルギーを冶金プロセスに利用する電磁気冶金に関する主要な研究成果を収録したものである。(B5 版, 138 頁)

なお、研究成果を重要テーマごとに総括した第二分冊である第 129・130 回西山記念技術講座テキスト「電磁気力を利用したマテリアルプロセッシング」[B5 版, 305 頁, 定価 6,180 円 (同上), 会員割引価格 5,150 円 (同上) と合わせてご活用いただくことをお勧め致します。第一および第二分冊一括購入の場合にはセット価格として、定価 9,270 円 (同上), 会員割引価格 7,210 円 (同上) と致します。

(目次)

- | | |
|-----------------------------|-------------------------------------|
| 1. 熔融金属フィルムの落下挙動 | 7. 回転磁界取鍋精錬炉の設備特性と冶金特性 |
| 2. 電磁気力による熔融金属の形状制御に関する基礎検討 | 8. 電子ビーム溶解における熔融金属表面温度測定上の 2, 3 の問題 |
| 3. 直流磁場による熔融金属表面波動の抑制 | 9. 水素-アルゴンプラズマによる溶鋼の脱炭・脱窒 |
| 4. コールド・クルーシブルの基礎的研究 | 10. 熱プラズマと凝縮相間の反応 |
| 5. 電磁気力による熔融金属の微粒化 | 11. 熱プラズマ噴流層による複合粒子の製造 |
| 6. 強磁場中の凝固現象 | 12. チタン合金の電子ビーム溶解に関する基礎的検討 |

申込法 お申込みいただくと同時に、次のいずれかの方法でご送金下さるようお願い致します。

送金方法 ・現金書留・郵便振替 (東京 7-193 番)
 ・銀行振込 (第一勧銀東京中央支店(普)No. 1167361)

申込先・問合せ先

〒100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館 3 階
 日本鉄鋼協会庶務課 水野 電話 03-279-6021(代)